

撮る人

カメラは過ぎ去ってゆく現在を、過去の現象として残すことができる装置です。その意味で写真を撮ることは、存在しえない過去をイメージとして存在化させることであるといえます。写真を撮り続ける写真家は過去の断片を収集しているともいえるかもしれません。

本展は写真家が写真を撮ることで残そうとしたモノ・コトをとおして、「撮る人」の想いを浮き彫りにすることを試みる展覧会です。そこには写真を撮る人が共通して持つ過去に対するノスタルジックな感情が宿っているのかもしれない。

小型カメラでのスナップショットを得意とし、人間の息づかいやさりげない日常の場面を自然でストレートなまなざしによって撮影した木村伊兵衛や幼いころソウルに移り住んだ経験が原動力となり、見る者に「故郷」を思いおこさせるような風景を記録し続けてきた朱明德ジュミンデクなどのほか、ライフワークとして日の出やキジなどの写真を撮り続ける高浜市在住の写真家・神谷浩造の作品を紹介します。



▲木村伊兵衛
「六代目尾上菊五郎・娘道成寺」
1936年



▲朱明德
「韓国各地の仏教寺院の扉意匠」
1981年



▲神谷浩造 「美鳥キジに魅せられて」 2016年

と き 2月18日(土)～4月9日(日)

午前10時～午後5時(観覧券の販売は午後4時30分まで)

休 館 日 月曜日、火曜日、3月22日(水)

※3月20日(月・祝)は開館

観 覧 料 高校生以上200円(160円)、中学生以下無料

※()内は20人以上の団体料金、または高浜市内居住者

◆ギャラリートーク 3月19日(日)午後2時～

問合せ先 かわら美術館 ☎52-3366



「福よせ雛」開催

役目を終え、人形供養を受けた雛人形たちの第2の活躍の場として注目されている、名古屋発祥の「福よせ雛」。雛人形で日常生活を表現し、見ている人を楽しませてくれます。名古屋を応援する「Save The NAGOYA 事業」にも認定され、今回も愛知県内の各所で展示されます。

市内では、吉浜地区の人形小路に加え、今回はかわら美術館でも開催。人形小路会場には、「元禄花見絵巻」や、「大坂夏の陣」の福よせ雛が登場します。人形の顔にも注目してください。

また、話題のあの人にも変身するのでお楽しみに！

かわら美術館会場では、福よせ雛プロジェクトに参加する各団体の作品が一堂に集まります。各地の特色あるユーモアたっぷりなお雛様をお楽しみください。



◆人形小路会場

と き 2月22日(土)～3月12日(日)

午前9時～午後5時 ※会期内無休

問合せ先 人形小路の会 ☎52-2808

◆かわら美術館会場

と き 2月22日(水)～3月5日(日)

午前10時～午後5時 入場無料

※休館日 2月27日(月)、28日(火)

問合せ先 かわら美術館 ☎52-3366